

## 第1回経営発達支援計画事業評価委員会 会議要旨

開催日時：平成28年1月21日(木) 13:30～15:00

開催場所：瀬戸内市商工会 2階会議室

委員総数：10名

出席者：8名(内部委員6名、外部委員2名)

出席者名：(外部有識者)

中小企業診断士 松本直也

瀬戸内市産業振興課 課長補佐 青山祐二

(内部委員)

瀬戸内市商工会副会長 福池幹夫

〃 副会長 福崎 勇

〃 経営支援事業副委員長 藤井雅司

〃 地域振興事業副委員長 神坂俊規

〃 青年部長 内藤国光

〃 女性部長 岡竹時江

(事務局 4名)

### 1 開 会

岡本事務局長が開会を宣し、引き続き出席者が自己紹介を行った。

### 2 経過報告

岡本事務局長が次の通り経過報告を行った。

#### (1) 経営発達支援計画認定状況

経営発達支援計画の制度概要を説明し、続いて当商工会及び県下の商工会等の認定状況について説明した。

・現在、認定されている商工会

8商工会：瀬戸内市、備中西、阿哲、真庭

作州津山、備北、総社吉備路、吉備中央町

認定回	認定日	認定商工会等
第1回	H27. 7. 15	0商工会： 1商工会議所：倉敷
第1回 再申請分	H27. 11. 17	4商工会：瀬戸内市、備中西、阿哲、真庭 5商工会議所：津山、児島、笠岡、井原、総社
第2回	H27. 12. 25	4商工会：作州津山、備北、総社吉備路、吉備中央町 1商工会議所：高梁

#### (2) 事業の実施(計画の実行・評価・見直し)体制について

平成27年12月8日(火)第4回理事会において、事業評価委員会の設置及び委員委嘱者の選任が承認された。これに基づき経営発達支援計画の事業評価委員会を設置し「計画の進捗状況確認」、「客観的な評価」、「事業計画見直し等の検討」をおこない結果を理事会に諮ることにより、次の事業計画に反映していくことを目的としている旨説明した。

### 3 協議事項

#### (1) 正副委員長の選出について

岡本事務局長が商工会委員会規程第5条により、委員長副委員長を委員の互選により選出するよう依頼した。藤井雅司委員から委員長に筆頭副会長の福池幹夫氏、副委員長に副会長の福崎勇氏が適任ではとの発言があった。

岡本事務局長は、他の意見を求めたが他に意見はなく、出席者に藤井委員の案を諮ったところ全員異議なく賛成多数により以下のとおり決定した。

役 職	氏 名
委員長	福池幹夫
副委員長	福崎勇

福池幹夫委員は委員長席に着席し、長期にわたる経営発達計画ではあるがこれから協議していただく、伴走型小規模事業者支援推進事業については2月末までと非常にタイトなスケジュールで実施しなければならず、委員の協力のもとしっかりと協議を進めていただきたいと挨拶を述べた後、議長に就任した。

#### (2) 経営発達支援計画の概要について

議長は、「(2)経営発達支援計画の概要について」事務局に説明を求めた。

事務局（松本支援課長）は、資料に基づき瀬戸内市商工会の「経営発達支援計画」の概要と平成27年度の計画については認定が大幅にずれ込んだため当初の予定から大きく出遅れている旨の説明をおこなった。

議長は、5カ年という長期にわたる事業計画ではあるが、事業に対する認識を深め慎重な協議により、効果的に事業が実施できるよう尽力いただきたい旨のお願いに続き、当委員会の役割について再確認のため事務局に説明を求めた。

事務局（松本支援課長）は、経営発達計画の事業の進捗状況と成果を確認し、それを客観的かつ公正に評価し、必要に応じ事業計画の修正・改善案等を理事会へ提案することが役割である旨の説明をおこなった。

#### (3) 本年度に実施する事業及び進捗状況について

議長は、「(3)本年度に実施する事業及び進捗状況について」事務局に説明を求めた。

事務局（松本支援課長）は、認定時期が当初より大幅にずれ込んだ為、事業計画どおりには進捗しておらず、補助金に依存しない経営支援事業を中心に事業推進に取り組んでいる旨を述べ、その状況について資料に基づき説明をおこなった。

#### 実施した経営発達支援事業について

実施項目	H27 目標	H27 実績
<b>2. 小規模事業者の経営状況の把握と分析</b>		
①経営情報の支援システムへの蓄積	50件	47件
②収集データに基づいた経営分析	50件	15件
<b>3. 事業計画策定支援</b>		
①事業計画策定支援	10件	47件
a 創業計画（創業補助金含む）		1件
b 経営革新（第二創業）計画		3件
c 持続化補助金に伴う計画		36件

実施項目	H27 目標	H27 実績
d ものづくり補助金に伴う計画		3 件
e 他補助金に伴うもの		3 件
f その他		1 件
③経営革新（第二創業）に関する支援		
b よろず事業化・六次産業化セミナーの開催（全三回）	1 回	全 1 回
c 経営革新計画策定専門家派遣による支援	10 件	3 件
<b>4. 事業計画の実施支援</b>		
②創業者のフォローアップ	2 件	2 件
③経営革新計画実施のためのフォローアップ	5 件	3 件

今年度これから取り組む経営発達支援事業について

実施項目	H27 目標	H27 実績
<b>1. 地域経済の動向調査及び分析</b>		
①地域経済・地域資源の調査・分析予測		
a 計画経営支援資料	作成	
<b>4. 事業計画の実施支援</b>		
①事業計画実施のためのフォローアップ	5 件	15 件
a 伴走支援フォーマット作成		作成

事業計画に記載のある事業のうち、上記以外の事業については平成28年度に着手する予定である旨の補足説明をおこなった。

議長は、ここまでについて質疑を求めたが意見等はなかった。

(4) 「伴走型小規模事業者支援推進事業」について

議長は、「(4)「伴走型小規模事業者支援推進事業」について」事務局に説明を求めた。

事務局（松本支援課長）は、本事業の補助金公募が11月下旬に開始され申請締切が12月2日と準備期間が十分でなかったこと、また、事業期間も12月22日から2月29日までと短期であることから、正副会長と相談をした結果、早期に事業実施することが望ましい事業に絞込申請をおこなうこととなった旨の説明をおこなった。

〈補助金要望内容〉

・補助事業期間：

交付決定日（平成27年12月22日）から平成28年2月29日まで

・補助事業の予算額：391,800円

〔伴走型小規模事業者支援推進事業費〕

経費区分	補助金額（単位：円）	備 考
委員等謝金	64,800	事業評価委員会委員謝金
会議費	3,000	お茶代
委託費	324,000	支援資料等作成委託費
合計	391,800	

《主な事業概要》

①経営計画支援資料作成

- ・瀬戸内市の経済動向を既存のデータを収集分析することで資料化
- ・経営計画の実行支援において必要、有効な情報を使いやすく整理
- ・今後の瀬戸内市の経済動向の予測、計画の見直し等の提言に活用

②伴走支援フォーマットの作成

- ・経営計画の進捗状況、成果の測定、評価、計画の修正等の必要な支援を共有するために必要な内容が記載できる様式の作成

①経営計画支援資料の概要について外部有識者の 中小企業診断士 松本直也 氏から補足の説明がおこなわれた。

議長が、出席者に意見を求めたところ、以下のとおり発言があった。

藤井委員：資料は業種別に作成するということであるが、今回支援を予定している15事業所にのみ利用できるものなのか。

松本先生：地域の小規模事業者で幅広く活用できる資料を考えている。

議長は、その他の意見を求めたが、発言は無く、「伴走型小規模事業者支援推進事業」について原案で進めてよいか諮ったところ賛成多数により承認された。また、外部有識者の瀬戸内市産業振興課 課長補佐 青山祐二 氏に、商工会は支援の実施にとどまらずその成果について強く求められており、商工会の存在価値を示すためにもこの事業について行政にも深くご理解いただきたい旨のお願いをした。

(5) 「その他」

岡本事務局長から、伴走型補助金の事業終了が2月末となっているが、事業の終了が2月中旬頃となるため、これらを勘案しまで2月下旬に第2回目の委員会を開催したいので開催日程を調整いただきたい旨の説明をおこなった。

《 協議の結果 》

第2回事業評価委員会

開催日時：平成28年 2月23日（火）13：30～

議長は、その他の意見を求めたが、特に意見はなく以上をもって協議を終了する旨を述べた。

福崎 勇 副委員長が閉会を宣した。時に14：35であった。